



監査報告書

令和 2 年 5 月 2 / 日

社会福祉法人 上富田町社会福祉協議会
会 長 三 栖 徹 殿

監事 福田 新治 
監事 平岩 修 

私たち監事は、平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日までの令和元年度の理事の職務の執行について監査を行いました。以下の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

3 意見・要望

今回の監査では、前述のとおり、経理処理には不適切な問題はありません。

決算状況については、平成 30 年度に 16,897 千円の大幅な赤字決算となったことか

ら、本年度予算では前期末支払資金残高より 12,421 千円を充当する予算編成となっていますが、事業活動による収支差額が予算に対して 8,788 千円減少になったことから、充当額を 8,785 千円削減でき、決算では 3,636 千円の赤字ではありますが、業務の改善が見られます。

その結果、予算編成では前期末支払資金残高が 99,006 千円であったが、決算では 107,791 千円に上方修正することができた。

しかしながら、積立資産を 14,395 千円〔災害見舞準備積立資産 20,000 円・事業振興積立資産 3,900,000 円・人件費積立資産 10,000,000 円・退職給付引当資産 474,907 円〕取崩していることから、依然として経営状況は厳しく、引き続き、経営改善計画に基づき経常経費の削減に取り組むと共に、令和 2 年度からは町の財政支援も拡充されることから、自立と安定した経営基盤の確立をめざし一層の業務の適正化に努めていきたい。